**演題：**演題のフォントはMS明朝、10.5ポイント。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

**著者：**混合　太郎1)、三久須　法子2)

**所属：**1) ○○大学　2) △△研究所

**本発表の専門分野：**○○○○、△△△△

**【背景】**見出しは変更不可。本文のフォントはMS明朝、10.5ポイント（文の英数字は半角、フォントはCentury、10.5ポイント）。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

**【混合研究法に関する概念・理論の提示】**見出しは変更不可。本文のフォントはMS明朝、10.5ポイント。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

**【混合研究法への示唆】**＜抄録における最も重要な項目になるので、熟慮の上、＞本研究が混合研究法にどのように貢献するかを記述すること。見出しは変更不可。本文のフォントはMS明朝、10.5ポイント。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

**【参考文献】**

引用文献の記載をする場合は５つまでAPA Styleで記載\*。参考文献リストを含め、1頁以内で作成してください。参考文献のフォントはMS明朝、10.5ポイント。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

\*詳細は日本心理学会会誌「心理学研究」の執筆・投稿の手引き[https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/The-JPA-Publication-Manual.pdf pp38](https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/The-JPA-Publication-Manual.pdf%20pp38)-46を参照のこと。